令和3年度　事務事業評価調書

施策名	道産水産物の国際競争力の強化	施策コード	07044

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点（E）（I）】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況（F）（J）（M）】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況（F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を
選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	一次政策評価 事務事業方向性 (B)	一次政策評価 理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	重点点検事業 Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
0250		－	一般	衛生管理対策・ホタテガイ海域拡大管理推進事業費	③	対EU輸出向け衛生基準をクリアするために必要な体制整備等の対策を講じる。	水産経営課	0	3,713	3,713	0.6	1.4	2.0	19,333	②	改善（指標分析）	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標(R5に道産水産物輸出1100億円/年)達成に向け、取組を継続していく。	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標達成に向け、食の輸出拡大戦略推進本部と連携し、道産食品の国際競争力の強化の取組の一層の推進を検討すること。	改善	本道産ホタテガイ(冷凍貝柱)をEUに輸出するために不可欠な検査を行う事業であり、経費の見直しなど必要な改善を図りながら継続して実施。				数値目標未達成の要因や輸出環境の変化の分析により、より効果的な事業を企画・実施するとともに、関係部との連携・役割分担により輸出促進を図っていく。
0251		－	一般	水産物流通調整対策費	②	輸入対策及び流通問題に関する国への要請、情報収集等。	水産経営課	0	289	289	0.3	0.7	1.0	8,099	②	改善（指標分析）	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標(R5に道産水産物輸出1100億円/年)達成に向け、取組を継続していく。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施			北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標達成に向け、食の輸出拡大戦略推進本部と連携し、道産食品の国際競争力の強化の取組の一層の推進を検討すること。	改善	貿易対策上不可欠な折衝・情報収集に要する事業であり、予算の範囲内で最大限の効果が得られるよう取り組んでいく。				数値目標未達成の要因や輸出環境の変化の分析により、より効果的な事業を企画・実施するとともに、関係部との連携・役割分担により輸出促進を図っていく。
0252		－	事務	水産物の輸出振興に関する企画、調整、調査に関すること	②	水産物の輸出振興に関する企画、調整、調査に関する事務全般。	水産経営課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,124		現状維持	道産水産物の輸出拡大に必要な事務であり、今後も継続。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				現状維持					
0253		－	事務	輸出手続きに関すること	④	中国向け及び韓国向け活水産物の輸出証明書を発行。	水産経営課	0	0	0	1.3	0.0	1.3	10,153		現状維持	申請者に対し迅速・正確に証明書を発行する必要があり、今後も継続。	－	④	①	Web申請で対応するなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	Web申請で対応するなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	Web申請で対応するなど、コロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				現状維持					
0254		－	一般	道産水産物輸出市場対策事業費	②	道産水産物の安全性PRや水産加工場のHACCP認定の取得促進。	水産経営課	0	881	881	0.3	0.0	0.3	3,224	②	改善（指標分析）	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標(R5に道産水産物輸出1100億円/年)達成に向け、取組を継続していく。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施			北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標達成に向け、食の輸出拡大戦略推進本部と連携し、道産食品の国際競争力の強化の取組の一層の推進を検討すること。	改善	輸出への関心の高まりから、輸出HACCP認定を希望する事業者が一層増加すると予想されるため、ニーズを的確に踏まえながら研修会を開催する。 また、活水産物の中国・韓国への輸出増に対応するため、輸出証明発行体制の拡充(食計年度職員増)を図る。				数値目標未達成の要因や輸出環境の変化の分析により、より効果的な事業を企画・実施するとともに、関係部との連携・役割分担により輸出促進を図っていく。
0255		－	一般	道産水産物輸出拡大推進事業費（創生交付金）	－	北海道食の輸出拡大戦略に基づく、道産水産物の販路拡大対策。	水産経営課	0	37,844	14,642	1.1	0.0	1.1	46,435		終了	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標(R5に道産水産物輸出1100億円/年)達成に向け、取組を継続していく。												・北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標達成に向け、食の輸出拡大戦略推進本部と連携し、道産食品の国際競争力の強化の取組の一層の推進を検討すること。 ・委託業務における、委託仕様書への脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記や、プロポーザルの際の提案の追加など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了					・数値目標未達成の要因や輸出環境の変化の分析により、より効果的な事業を企画・実施するとともに、関係部との連携・役割分担により輸出促進を図っていく。 ・委託業務において、委託仕様書へ脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記を検討する。
	1	－	一般	道産水産物フェア等（委託）	⑥			0	25,844	18,642								－	④	②	委託仕様書に温室効果ガスの排出削減等に資する取組を促す項目を付記することを検討。	－	⑥	②	委託仕様書にIoT、AI、ICTを積極的に活用するよう付記することを検討。	○	①	プロモーション活動の一部をオンラインで実施済み。						○	○		
	2	－	一般	道漁連補助金	⑦			0	12,000	6,000								－	－	－		－	－	－		○	①	プロモーション活動の一部をオンラインで実施済み。									
計								0	42,727	19,525	4.0	2.1	6.1																								

■令和４年度　新規事業

道産水産物輸出拡大推進事業費